

ベラスケスとバロック絵画

影響と同時代性、受容と遺産

【プログラム】

午後 12 時半 開場

13:00～ 趣旨説明「ベラスケスとバロックをめぐる諸問題」

大高保二郎（早稲田大学）

13:30～ 研究報告（各 25 分+質疑 5 分）：

1. 「ベラスケスとカラヴァッジェスキ」 宮下規久朗（神戸大学）
2. 「フェリペ 4 世の宮廷とルーベンス」 中村俊春（京都大学）
3. 「ベラスケスとレンブラント—粗描きの『絵画論』」 尾崎彰宏（東北大学）

<インテルメッツォ：バッハ作曲『フーガの技法』>（20 分）

4. 「ベラスケスとブッサン—「高貴な技芸」をめぐる—」
栗田秀法（名古屋大学）
5. 「マネのベラスケス受容—近代絵画への遺産」 三浦篤（東京大学）
6. 「“美術館”の芸術家たち：ベラスケスと 20 世紀の美術におけるその影響」
Isaac Ait Moreno（イサーク・アイト・モレーノ、慶應義塾大学）



総合討議 司会・進行 松原典子（上智大学）



■日時： 2016 年 3 月 4 日（金） 午後 1 時～6 時
（午後 12 時 30 分開場）

■場所： 早稲田大学 小野記念講堂

入場無料

■主催： 早稲田大学美術史学会

■共催： スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会

■後援： 美術史学会、地中海学会、
早稲田大学総合人文科学研究センター

■助成： 鹿島美術財団

ベラスケス シンポジウム事務局 (velazquez.sympo@gmail.com)